

芸能花伝舎

芸能花伝舎 第1号 2005年4月30日発行
社団法人日本芸能実演家団体協議会 芸能文化振興部
〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎 2F
TEL:03-5909-3060 FAX:03-5909-3061
infope@geidankyo.or.jp http://www.geidankyo.or.jp

G E I N O K A D E N S H A

vol.01 芸団協

小学校が生まれ変わった!



創造・交流のための芸能文化拠点・**芸能花伝舎**、新宿にオープン

社団法人日本芸能実演家団体協議会（通称：芸団協）は、演劇、音楽、舞踊、演芸など、さまざまな芸能に携わる実演家やスタッフ等の団体（4月1日現在70団体、傘下に約8万人）で構成されている社団法人で、2005年に創立40周年を迎えます。このたび、文化振興に力を入れようとしている新宿区と思いが一致し、新宿区と文化協定を結びパートナーシップを構築していくことになりました。その協定に基づき、旧淀橋第三小学校（平成9年に閉校）を10年間で有償で借り受け、芸能文化拠点として開設する運びとなりました。

芸能花伝舎には、稽古や研修用にご利用いただける創造スペースのほか、芸団協をはじめ、さまざまな分野の芸能関係団体が事務所としても利用します。芸団協では、これまでも芸能を支える「人づくり・場づくり・しくみづくり」の事業を行ってきましたが、その柱のひとつ、研修・交流事業もさらに充実させていきます。ここ芸能花伝舎が、さまざまな人たちが集い、刺激しあい、学びあう場となるよう、みなさま方のご支援、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。



芸能文化拠点・芸能花伝舎の外観（旧淀橋第三小学校）



芸能花伝舎には稽古用スペースが6室、会議・セミナー用スペースが5室あります。写真（右）は給食室を改装した稽古用スペース。



満開を迎えた芸能花伝舎の桜

芸能花伝舎の由来

古来芸能は、辻、河原、神社仏閣など無主、無縁の公共的な性格を有する空間、「庭」で成立しました。時代が下り、「庭」は小屋、寄席、劇場とその呼称を変えてきましたが、芸能の場は常に自由な共同の場、公界でした。こうした原点を踏まえ、21世紀の新たな「庭」づくりをめざし、日本の芸能の伝統継承と新たな創造が生起する時空を示すものとして、能楽を大成させた世阿弥の著作『風姿花伝』から命名しました。

「花」は芸の真髄。日々の地道な鍛錬と心の極みに咲くものこそ「真の花」と呼ぶに値します。この「芸能花伝舎」も、日々の地道な活動を積み重ね、やがて芸能文化の真の花を咲かせるような土壌にしていきたいと考えています。



オープニング記念事業は5月5日の「子どもの日イベント」から

芸能を身近に体験していただけるように、今年度はいろいろな芸能花伝舎オープニング記念事業を開催します。第一弾は、5月5日の子どもの日イベント。人形劇や落語、ミニコンサートなどを見たり聞いたりできるほか、マジックや楽器、ダンスなどの体験コーナーもあり、お祭り気分を盛り上げる模擬店もあります。

芸能花伝舎のオープニング・セレモニーは、6月6日の「芸事はじめ」の日に開催します。芸能花伝舎全館をつかって、花伝舎を支えてくださる内外の方々にお披露目の会を催します。

その後も、7月7日の七夕さま、10月10日、12月12日には、新宿区在住の人間国宝の方々をお迎えして、それぞれ、箏曲、日本舞踊、新内のライブ&トークを開催します。題して<花伝シリーズ>。芸の世界を極めた人だけが持つ空気を間近で感じていただくとともに、落語家の三遊亭小遊三師匠が、楽しくお話を伺います。日ごろ、同じ新宿区に在住在勤していても、人間国宝の芸という敷居が高く、なかなかふれられないもの。そこを身近に体験できるようにというのが、この<花伝シリーズ>の目指すところです。

花伝シリーズが芸の極みに触れる機会ならば、「チャレンジ精神に遊ぶ」のが<創遊シリーズ>。芸能花伝舎には、芸団協のほかにも、落語芸術協会や、日本音楽家ユニオンなど、ジャンルの異なる協会組織が事務所を構えています。落語家とクラシックの演奏家がコラボレーションしたらどうなるか？さまざまな実演家たちが日常的に集っている場所だから、さまざまなチャレンジが生まれそうです。分野の境を越えて、新しい創造の場に立ち会っていただくのがねらいです。ご期待ください。

5月5日「子どもの日イベント」スケジュール

(各50分程度)

コード	開始時間	プログラム名	内容
鑑賞1	11:00 ~	人形劇 「麦わらぼうし」「山の子ぎつね」	小さな世界を人形劇で。アニメやテレビにない世界を楽しむ。
鑑賞2	11:00 ~	児童演劇 「だいっきらい。」	君の嫌いなものは何かな？ オムニバスで
鑑賞3	13:00 ~	マジック マギー隆司のマジック笑	笑いマジック痛快ショー
鑑賞4	13:00 ~	コンサート マリンパデュオ「マリンパ二重奏」プラス「パーカッション」	聴き覚えのあるクラシック音楽や、アニメ映画音楽をマリンパで
鑑賞5	14:00 ~	子どものための落語 三遊亭小遊三落語会	抱腹絶倒、子ども大笑い、腹べこべこ
鑑賞6	14:00 ~	コンサート アンサンブルKEI 弦楽四重奏 モーツァルトからトトロまで	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ。たのしいトークをまじえて
体験1	11:00 ~	リトミックを体験しよう	音楽に合わせてステップ、身体がリズム、親子で一緒に楽しい時間
体験2	15:00 ~		
体験3	11:00 ~	私もマジシャン！マジック体験	マギー隆司が、ローブやカードのマジックを教えます
体験4	15:00 ~		
体験5	11:00 ~	寄席囃子を体験しよう	ドンドン、ドントコイ、ウントコイ。落語芸術協会若手が寄席囃子を手ほどき
体験6	13:00 ~		
体験7	11:00 ~	私はチャイルド・ダンサー	トンガリ体操 No.5 でおどろう
体験8	13:00 ~		
体験9	13:00 ~	人形劇体験	作って遊ぼう・海で泳ぐ人形たち。
体験10	15:00 ~		
体験11	13:00 ~	バントマイムで遊ぼう	清水きよしによるバントマイム教室
体験12	15:00 ~		
体験13	14:00 ~	パーカッションで遊ぼう！	マリンパ、小太鼓、小物打楽器で遊ぼう
体験14	15:00 ~		
体験15	14:00 ~	バレリーナになろう	谷桃子バレエ団のダンサーと美しい世界へ
体験16	15:00 ~		
体験17	14:00 ~	手作り楽器を作ろう	笛吹きゆうべえさんがフィルムケースなど使って笛づくり
体験18	15:00 ~		
体験19	14:00 ~	クラウン体験でおもしろ自分発見	メイクしてクラウンに変身
体験20	15:00 ~	クラウン体験ジャグリング	出来るかな？ ジャグリングの技
体験21	14:00 ~	ミラクル玉手箱	ジャワのガムランの癒しの響きを
鑑賞7	16:00 ~	父さん母さん特別企画 桂歌丸落語会	ご存知、歌丸が贈る落語スペシャル

2005年度、オープニング記念事業・関連事業

5月5日	子どものための芸能体験イベント
6月6日	芸能花伝舎 芸事はじめ オープニングセレモニー
7月7日	花伝シリーズ 山勢松韻(箏曲)VS 三遊亭小遊三
9月9日	創遊シリーズ 桂 平治と音楽家
10月1日	芸能花伝舎まつり
10月10日	花伝シリーズ 西川扇蔵(日本舞踊)VS 三遊亭小遊三
11月11日	創遊シリーズ 桂 歌若と音楽家
12月12日	花伝シリーズ 鶴賀若狭掾(新内)VS 三遊亭小遊三
2月2日	創遊シリーズ 春風亭昇太と音楽家

参加申し込みの詳細は、追ってお知らせいたします。芸団協ホームページやメールニュースでもご案内します。

【花伝シリーズ】身近に人間国宝の人と芸を体感

江戸が育んだ大人の文化にふれる

夏から秋にかけての「花伝シリーズ」は、新宿の名誉区民である人間国宝の方々にご登場いただきます。人間国宝とは、伝統の技と芸の世界の体現者たちの中でも、選ばれた人だけに許された称号。そんなアーティストたちの素顔と演奏を間近で味わう貴重な機会です。超一流の方々には、ジャンルを超えて共通する何かがあります。その魅力に、「笑点」でお馴染みの三遊亭小遊三が聞き手となって迫ります。

2005年7月7日(木)18:30開場 / 19:00開演 山勢松韻(箏曲)

「將軍家の姫君から町娘まで

～江戸の女性たちのお稽古ごとの魅力に迫る」

江戸時代から続く山田流箏曲山勢派の6代家元。2001年人間国宝。幅広い教養に裏付けられた深い表現力と端正な芸格には定評があります。

10月10日(月・休)13:30開場 / 14:00開演 西川扇蔵(日本舞踊)

「身体で感じる江戸っ子気風～美しい所作の秘密」

西川流十世宗家。7歳で扇蔵を襲名して以来、流儀の要として今日に至る。1999年人間国宝。古典・創作のいずれにも通じ、特に身体表現の

美しさは国内外にいる多くのファンの憧れとなっています。

12月12日(月)18:30開場 / 19:00開演 鶴賀若狭掾(新内)

「江戸の粋と艶～声の魅力を発揮して語る心中の美学」

新内節の鶴賀流11代家元。若狭掾は、新内節の始祖以来の由緒ある名跡。2001年人間国宝。江戸前の歯切れの良さと、哀切感が漂う格調高い語り口が人気です。

聞き手 三遊亭小遊三(3回共通)

3代目三遊亭遊三に師事。1983年真打昇進。1980年、2001年芸術祭優秀賞受賞。得意ネタは「長屋もの」。芸能花伝舎に事務所を構える(社)落語芸術協会副会長。

会員券: 18000円(3回セット券) / 1回ずつの場合は、各回8000円
座席数に限りがありますので、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お申し込み・お問い合わせ: 芸能花伝舎「花伝シリーズ」係



稽古にワークショップやセミナーそして会議に、 11の創造スペースを貸し出しています

家庭科室や給食室、音楽室などが芸能の稽古、ワークショップ用スペースに、職員室や教室が会議のスペースに生まれ変わりました。体育館を含め、レンタルスペースは全部で11。年末年始7日間を除く毎日開館で、時間は10:00 - 22:00。4月18日から、ご利用いただいています。

ご利用のお申込みは、3カ月ごとに

創造スペースの概要

稽古用スペース		* 冷暖房は体育館を含めてオープン時より稼働しています。	
部屋名	幅×奥行×天高(m)	床面	備考
S-1 A [特別棟1F]	8×14×3(梁有り)	ベニヤ、オイルステン仕上	壁面鏡
S-1 B [特別棟1F]	8×14×3(梁有り)	リノリウム貼り	壁面鏡 バレエバー(可動)
S-2 [特別棟2F]	8×14×3(梁有り)	ブナ、フローリング仕上	
S-3 [特別棟3F]	8×14×3(梁有り)	板(直貼り)	簡易防音、ピアノ(アップライト)
1-4 [本校舎1F]	10×12×3(梁有り)	ブナ、フローリング仕上	壁面鏡
体育館	15×33 (うちステージ)12×6×1	板(体育館まま)	ピアノ(アップライト)

会議・セミナー用スペース		* 各スペースに示した人数はスクール形式での目安です。	
部屋名	幅×奥行×天高(m)	床面	備考
1-1 (80人室)[本校舎1F]	7.3×16×3(梁有り)	板(直貼り)	机(18)イス(80)ワイヤレスマイク(2)
1-2 (30人室)[本校舎1F]	7.3×8×3(梁有り)		机(15)イス(30)
1-3 (30人室)[本校舎1F]	7.3×8×3(梁有り)		机(15)イス(30)
3-1 (40人室)[本校舎3F]	7.3×13×3(梁有り)		机(40)イス(40)
3-2 (30人室)[本校舎3F]	7.3×8×3(梁有り)		机(30)イス(30)

受け付けをしています。秋期(10/1～12/28)の二次募集、冬期(06年1/5～3/31)の一次募集の締切りは、**7月15日(金)**です。ご利用開始日が今年の9月30日までで、まだ空室の場合は、ご希望があれば随時受け付けています。創造スペースの詳細は芸団協ホームページ(<http://www.geidankyo.or.jp>)をご覧ください。創造スペース利用専

用電話 **03-5909-3066**]にお問い合わせください。Eメールでのお申し込み、お問い合わせは kadensha@geidankyo.or.jp までお願いいたします。

日本俳優連合の「俳優のつどい」初夏のお知らせ

俳優が、働きやすく、健康的で、少しでも恵まれた環境を作るために、集い語り合う恒例のつどい。05年初夏は、花伝舎で開催します。淡島千景さんと松山政路さんの対談、肖像パブリシティ権や仕事場における安全対策の話など、日本俳優連合の会員以外でも、芸能実演家およびその関係者であればご参加いただけます。

場所: 芸能花伝舎1階セミナー室(1-1)
日時: 05年5月17日(火)13時～16時
入場無料

主催: 日本俳優連合「俳優の未来を考える会」
協賛・助成: 芸団協・実演家著作隣接権センター(CPRA)

お問い合わせ先: 日本俳優連合
03-5909-3070



芸団協セミナーが、さらに拡充。 芸能花伝舎は芸能にかかわる“プロのための学校”

芸団協では、これまでもさまざまなテーマの芸団協セミナーを開催してきましたが、研修事業やコンサルティング機能の拡充を目指して、ここ芸能花伝舎という拠点が実演家やスタッフのための‘学び舎’となるよう、キャリア・サポート部を設置。

◎芸に対する姿勢が刺激のもと

実演家のための伝統芸能入門講座は、昨年、講談、日本舞踊、狂言の3講座を開設したところ、人間国宝や家元の迫力を直に感じることができたと、受講者からたいへんな反響をいただきました。

老若男女の実演家たちが、キャリアに関係なく学んでいる姿が、受講者どうしの刺激でもありました。今年度の第一弾は6月の講談、9月の琵琶の語り。その後も、常盤津、清元など日本の語り物の分野を広げ、プロの実演家限定で開催します。今年度後半には、実演家の権利に関する新規講座も予定しています。

◎舞台芸術の実務担当者向け講座

制作者やプロデューサー向けのマネジメント関連講座には、昨年度より**財務・会計の講座**が加わりました。今年は7月と8月に**財務基礎とテーマ別中級講座**を開催します。そのほか、定番となった**著作権や契約の基礎講座**など、年間を通じていろいろ開催します。

◎マネジメント連続コースが6月スタート

舞台芸術の制作や地域の文化事業の実務には、これといった模範解答はなく、さまざまな知識と経験を総合する応用力が不可欠です。今年から、多角的にテーマをとりあげ総合する力を強化するよう、連続コースを開設しまし

た。受講者どうしの経験交流も重視していきます。また、連続コース以外にも、制作者たちが気軽に集まって交流する機会を7月から設けていきます。

◎子どもたちと関わるための実践講座

このほか、3年目を迎える表現教育指導者養成講座も、基礎講座と初級コースが開設されます。芸団協では、「実演家よ、学校へ行こう!」という掛け声とともに、研修の一環として小学校へ出かけていき、子どもたちに表

現活動の機会を提供していく実践を2000年から始めていますが、指導者養成講座ではOBやOGも実践の場に加わって、経験を分かち合っています。さまざまな分野の実演家が、「表現」を軸にネットワークを広げつつあります。

プログラムの詳細と参加受付の手順は、今後、芸団協ホームページや芸団協メールニュースを通じてもお知らせいたしますのでご利用ください。

芸能花伝舎の 住人たち

芸能花伝舎への入居団体は芸団協・芸能文化振興部のほか、日本音楽家ユニオン、日本児童・青少年演劇団協同組合、日本青少年音楽芸能協会、日本俳優連合、落語芸術協会、全国人形劇人協会、日本演出者協会、東京芸能人国保フリー会、芸術振興市民の会、新国立劇場演劇研修所(NNTドラマスタジオ)(4月現在)となっています。

今回は新国立劇場演劇研修所(NNTドラマスタジオ)を紹介します。

新国立劇場演劇研修所(NNTドラマスタジオ)

今年度より、新国立劇場が演劇部門の俳優研修所をスタートさせます。新国立劇場演劇研修所(NNTドラマスタジオ)となるのが、ここ芸能花伝舎内の別館、旧幼稚園棟です。現演劇部門の芸術監督・栗山民也氏が演劇研修所所長を務めます。研修所開講式は4月22日、八重桜の花びらが舞う中、なごやかに開かれました。2月末から3月初旬にかけて第一期研修生の募集が行われていましたが、およそ40倍の競争を経て、男性8人、女性7人が花伝舎に通うことになりました。平日は毎日びっ

しり‘授業’があるそうです。新国立劇場運営財団の事業部演劇研修担当の井上桂さんは「びっしりとした授業を改めてみたら、充実した内容らしく、講師の先生たちが、自分が受けたいぐらい、とってくださるのがうれしいです」とおっしゃっています。改修をしてきれいになっていますが、ここを巣立っていった子どもたちが親しんだ名残をそこかしこに発見できるのが花伝舎。研修期間は3年だそうですが、研修生たちの悲喜こももも、ここに刻まれていくことでしょう。

あ と が き



芸能花伝舎の運営開始にともない、これまで芸能振興にかかわる事業を担当してきた芸団協・芸能文化情報センターは、芸能花伝舎の運営も行う部署として再編成され、芸能文化振興部となりました。部内には、研修・相談事業などを担当するキャリア・サポート部と、創造スペースの貸出、そのほか主催事業等を担当する花伝舎業務部、調査研究部があります。担当職員は、米屋尚子、山田曜子、関伊佐央、原田清恵、谷垣内和子、佐野康順、鈴木恭子、そして全体統括が大和滋の計8名です。今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。